

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	北海道 赤平市		代表者名	畠山 渉	
担当者部署(属性)	財務担当	担当者部署名	財政課	連絡先電話番号	0125-32-2212
担当者役職	課長	担当者氏名	丸山 貴志	連絡先E-mail	
住所	079-1192 北海道赤平市泉町				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（複数団体）	事業名（予定）	ガバクラ運用コストに関する理解向上
概要	今年度、赤平市が実施幹事となっている「令和6年度 北海道市長会財政担当係長等研修会」にて、「ガバメントクラウド運用に関するコスト増の見直しについて」をテーマに研修を行い、財政部門の職員向けにガバクラの現状及び運用のコストについて知識のインプットを図っていただきたい。		
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成）自治体システム標準化・共通化 自治体システム調達/地域情報プラットフォーム		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和6年10月10日	支援・助言(実地)	15時00分	17時00分	
				活動時間（分）	120
2-2.	会場名	赤平市交流センターみらい		最寄駅	赤平駅
派遣場所	所在地	北海道赤平市泉町1丁目1番地33		最寄駅からの交通手段	徒歩1分

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	栗城 和也
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	最新の情報に対して、丁寧な個別相談の支援をいただき、効果的なワークショップとなった。
アドバイザーへの要望事項	

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	43人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	43			

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	ガバメントクラウド利用は今後継続して行われていくこととなるが、財政部門ではガバメントクラウド及びコスト積算に関する知識が不足しており、このままでは情報政策部門がベンダから言われた価格が適正かどうか判断することが困難となる恐れがある。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	現状では理解や判断が難しいガバメントクラウドや標準化に関するコストの妥当性について財政担当者が判断ができるようになることで、予算の健全化（必要な事業に対して適切なコストを積算できる）につながり、結果として余剰コストが発生した場合に、自治体が抱える問題の解決や住民が希望する政策の実現につなげることが期待できる。具体的には、子育て世帯への支援の充実や高齢者や低所得者への支援など住民福祉の充実を図ることや、地元企業や農林水産業従事者への支援、教育環境の整備など自治体ごとに様々な事項が考えられる。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	研修会において出席する職員向けに対する自治体DXや地域DXに関する知識のインプットや個別相談の支援を行っていただくことで、財政部門の職員に対する自治体DXの理解度向上を図っていた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	参加した財政担当職員の自分の市の自治体DXのコストについての判断する力が向上したと思われる。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない 財政担当職員のスキルアップにつながっていると思われるが、今後の予算編成時期になって初めてその効果が出てくるものと思われる。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特にありません。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 財政担当者研修の限られた時間の中でのワークショップだったため。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある 財政担当職員の自治体DXに関するスキルアップを図り、今後の財政運営が健全に進められるものとする。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	自治体DXの知識をすべての自治体職員が身に着けることで、より健全な自治体運営に努めることができる。	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 掲載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

